

2016
9

かながわの交通



平成28年交通安全年間スローガン
(一般部門B:歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの) 内閣総理大臣賞

シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全



彼岸花

(横浜市港北区:西方寺)



自転車はどこを走ったらいいの…? 教えて!

自治会・企業・高齢者の集まりなどで

チリリン・スクール を一緒にやりませんか。



◎県内の交通事故発生概況(平成28年8月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成28年	17,642	81	21,032
平成27年	18,667	113	22,263
増減数	-1,025	-32	-1,231
増減率	-5.5	-28.3	-5.5

	総 数	男	女
県 人 口	9,146,135	4,565,092	4,581,043
免 許 人 口	5,610,906	3,229,416	2,381,490
割 合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成28年8月1日、免許人口は平成28年7月末現在)

平成28年度 秋の全国交通安全運動

～9月21日(水)から30日(金)の10日間～

●目的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

●スローガン

- ・安全は 心と時間の ゆとりから
- ・高齢者 模範を示そう 交通マナー

●運動の基本

子どもと高齢者の交通事故防止



●重 点

- 1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止（特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底）
- 2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 3 飲酒運転の根絶
- 4 二輪車の交通事故防止



《交通安全イベント》



ビーガルくん

日 時：9月21日(水) 午後2時～午後4時
場 所：JR桜木町駅前広場
主 催：神奈川県警察
概 要：秋の全国交通安全運動の初日に、当該運動を広く周知させるとともに、子どもや高齢者をはじめとする交通事故を未然に防止することを目的としてキャンペーンを実施します。



リリポちゃん

～イベント～

- 広報啓発活動（チラシ・グッズ配布、反射材貼付）
- パトカー・白バイの体験乗車
- 二輪車用プロテクター、自転車用ヘルメット、反射材の展示・体験
- 自転車交通安全教室



第38回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会

～平成29年神奈川県大会の予選を兼ねて～

8月25日(木) 南足柄市体育センターアリーナにおいて、足柄地区1市5町の小学生(19チーム76人)が参加して、地区大会が行われました。熱戦が繰り広げられた結果、来年の「第48回交通安全こども自転車神奈川県大会」の代表として、昨年に続いて開成南小学校チームが僅差でその栄光を勝ち取りました。



●団 体

- ①優 勝～開成南ドウイアワベスト(開成町)
- ②第2位～開成南セーフティ(開成町)
- ③第3位～向田ずつ友(南足柄市)

●個 人

- ①優 勝～釣持一平 選手(南足柄市)
- ②第2位～山本雪乃 選手(開成町)
- ③第3位～蓮野奈菜英 選手(南足柄市)



『第51回交通安全子供自転車全国大会観戦記』

神奈川県警察本部交通総務課交通安全教育隊 巡査長 伊波春佳

平成28年8月3日、私は初めて交通安全子供自転車全国大会に行き、神奈川県代表である開成町立開成南小学校の応援をしてきました。会場は東京ビッグサイト。初めて見る会場はとても広く、多くの大会関係者や、応援に来ている家族などが見守る中、とても緊張した面持ちで整列している我が神奈川代表の子ども達がいました。開会式前の学科試験もちゃんとできたかなと心配になってしましましたが、それはもう終わったこと。次は実技試験に気持ちを切り替えて頑張れ!と心中で叫んだのでした。



今年の神奈川県代表チームは女の子ばかりの四人組。私たちは、全国大会前に二度ほど彼女達が練習する所へ訪れました。練習場所である小学校に着くと皆笑顔の中にも真剣に練習を続けていました。休憩中はおかしを食べながら楽しくおしゃべりをしていても、いざ練習が始まると、自分の苦手な種目を何度もくり返し練習したり、お互いに注意しあったりと、とてもチームワークが良く、私はこれなら本番でもきっと頑張ってくれる。と、とても頼もしく感じたのでした。

また、子ども達の指導をして下さっている開成町交通指導隊や、警察署員のほか、子ども達を陰で支えているご家族など多くの人達の地域ぐるみの協力があってこそ、こうした取組ができるのだなとあらためて地域の方々の熱意と、次世代を担う子ども達に対する愛情を感じたのでした。

本番では練習の成果は上手に出せず、入賞は逃しましたが、私は結果などは二の次で、一番は子ども達が全国大会という大きな舞台でしっかりと競技に取り組んだことで十分だと思いました。

そして、この選手達が大会に出たことを自信にして、自転車の通行ルールやマナーを率先して守り、同じ子ども達の模範となって地域の交通事故防止の一端を担ってくれたら素晴らしい事だと感じました。

第51回交通安全子供自転車全国大会を終えて

開成町市民サービス部環境防災課 小田 優

平成28年7月2日、昨年度に引き続き、第47回交通安全子ども自転車神奈川県大会で町としては3年連続3回目、開成南小学校としては初優勝し、見事全国大会出場が決定しました。

今年の選手は4名ともに女子選手であり、普段から選手1人ひとりがスポーツに励み、選手同士の仲がとても良いのが特徴です。



県大会前の練習では素晴らしい仕上がりを見せてくれました。この仕上がりなら優勝できるだろう、指導者も安心して見ていられる仕上がりだったのをよく覚えています。そして県大会当日、選手一人ひとりが安全走行で素晴らしい技能を披露してくれました。しかし、技能走行においては一変、優勝を意識したことから、普段なら絶対にしないミスを連発、走行後、選手は呆然としていました。それでもなんとか僅差で優勝することが出来ました。その時の選手の安堵した表情、保護者様、指導者の笑顔は今でも忘れません。

選手達は県大会優勝の余韻に浸ることなく、全国大会上位入賞を目標に練習を開始しました。どんなに練習でうまくいっても本番はそうとは限らない、県大会で学んだことが更に選手たちを成長させました。指導にあたっては開成町交通指導隊、松田警察署、県警交通安全教育隊のご支援により、さらに質の高い練習を実施する事が出来ました。

選手たちも6年生、小学校生活最後の夏休み、本当はたくさん遊びたかったかもしれません、そんな様子を感じさせず、一心不乱に取り組んでいる姿を見て、私を含めた指導者一同、「なんとか入賞してほしい」、言葉に言わずともそれが伝わってきました。

約3週間の練習を終え、ついに全国大会当日、選手は互いの出走を前に励まし合いながら緊張をほぐしていました。この数ヶ月の取組みを見てきた私としては結果が出る出ないは関係なく、出走している姿を見るだけで目頭が熱くなるものがありました。全選手出走後、それぞれの充実した表情が印象的でした。

閉会式では、表彰されることを願っていましたが、残念ながら表彰には届きませんでした。結果は町として過去最高の22位。もちろん選手達は残念がっていましたが、私はこの数字を忘れません。この数字にはたくさんの人の想いがつまっています。選手達は気づいていないかも知れませんが、選手達の取り組みを見て、心を打たれた人はたくさんいます。そして間違いなく、これまでの経験と努力は彼女達の今後の人生に良い影響をもたらしてくれるものだと思います。

保護者様をはじめ、開成町交通指導隊 松田警察署 足柄交通安全協会、県警交通安全教育隊、学校関係者の方々の熱心なご指導、支えには、深く御礼申し上げます。最後に選手達へ。たくさんの感動をありがとうございます。

事故のない 明るい未来は 君の手で

～おめでとうございます～ 関東管区警察局長感謝状

三浦市交通安全協会会长 高梨 和吉 氏



平成17年に三浦市交通安全協会会长に就任し、平成25年から(公財)神奈川県交通安全協会理事を努めていただいている高梨和吉氏は、本紙本年3月号「この人」欄でもご案内のとおり、交通栄誉章緑十字金章を受賞されるなど、交通ボランティアのリーダーとして、他の模範となるような各種交通安全活動を推進しており、警察活動への協力に功労があると認められ、去る8月10日、島根警察本部長から「関東管区警察局長感謝状」を伝達されました。

二輪車安全運転大会(県大会、全国大会)を終えて

全国大会神奈川県チーム監督 橋本 紳二

今年の県大会は、大会史上初めて100名を超えるライダーの参加申込みがあり、大盛況でした。近隣住民への騒音や交通渋滞等に対する配慮、出場選手のスムーズな誘導等競技の円滑な進行にも例年になく配慮しつつ、来年度以降の大会運営に活かすことのできる貴重な経験をすることができました。

県大会の出場選手には、80歳を超えるご高齢のライダーがあり、競技中の怪我など事故防止の対応に苦慮しました。しかし、競技を無事に終了し、競技成績はともかく、全ての競技種目を完走したあのたくましさには、私自身、驚くとともに、病気や怪我もせず、無事故・無違反での年齢までバイクに乗り続けていたという情熱に刺激された次第です。

県大会の上位入賞者に対して、全国大会に出場する選手選考を兼ねた特別訓練を実施しましたが、訓練員、コーチを例年より少なくして少数精鋭の指導体制で臨むこととし、また、訓練日数も少ないことから効率的に行うこととしたため、コーチ、サポーターとの連携に配意しながら団結力を高め、密度の濃い訓練を目指しました。今年の訓練日は、猛暑日が多かったので、訓練員のヘルメットの中の顔を覗き込むなど、その体調管理には細心の注意を払いました。

昨年度の全国大会は、いわゆる「選手の切れ目」の年にあたり、全ての選手が初出場という状況の下で大会に臨んだ結果、団体成績は第13位と奮いませんでしたが、今年度は全選手を大会経験者より選考し、全国第5位という成績を勝ち取ることができました。来年の第50回全国大会では「優勝」を目指して頑張る所存です。

今年の大会を振り返り、選手の努力に敬意を表するとともに、訓練を支えてくださった関係者やサポーターの皆様に感謝する次第であり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



(全国大会神奈川県チーム)



(県大会競技の模様)

二輪車事故防止キャンペーン

交通事故により亡くなられた方が減少する中で、

二輪車の関係する交通死亡事故が多発！

しています。

二輪車関係事故全体及び二輪車の関係する交通死亡事故は10年前と比較しても大きく減少していますが、今年は、二輪車の関係する交通事故死者数が交通事故死者数全体(69人)の4割近く(26人)を占めています。

その特徴は、曜日としては土曜日(9人)、時間帯では18~20時(5人)の夜間、通行目的では通勤時(9人)、特に退勤時(6人)に多く発生しています。年齢層別では30歳代と25歳未満の若年者合わせて15人、免許取得経過年数では10年以上の方が13人、それぞれ亡くなっています。

事故類型別では右左折時(8人)、車両単独(7人)が多く、排気量別では原付が最も多くなっています。(平成28年7月末交通事故概況)

各地区交通安全協会では、これらの特徴を踏まえて、

8月19日「バイクの日」

に二輪車交通事故防止活動を展開しました。



(栄交通安全協会)

《二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査》

二輪車の安全運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進するため「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を行います。

二輪車を愛し、二輪車の快適さ、安全運転技能・マインドを、二輪車安全運転指導員としてライダーに伝えたい皆さんのご応募をお待ちしています。

① 日 時 平成28年10月15日(土) 《養成講習会… 8:30～12:10》
② 場 所 神奈川県自動車運転免許試験場
③ 応募資格基準

20歳以上で、二輪免許又は原付免許を持ち、その運転経験が3年以上あり、過去3年内に行政処分(運転免許の取消し、停止等)を受けたことがないこと、かつ悪質な交通違反を犯していないこと。その他、指導員としてふさわしい者であること。

※ 運転記録証明書がないと受講できませんので、必ず持参してください。

④ 内 容

- 養成講習会 ~ 適性検査、学科講習、学科試験
- 資格審査 ~ 実技審査(一本橋、急制動、パイロンスラローム)
面接審査
書面審査

※ 申込用紙は二輪車販売店、県交通安全協会にありますが、費用等
詳細は県交通安全協会ホームページをご覧下さい。



(昨年の講習会)

● 交通指導員研修会の実施 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

本年6月1日交通指導員の委嘱替えが県下一致に行われ、各地区交通安全協会では委嘱式や交通指導員研修を行って、指導員同士の団結を強めるとともに、事故のない効果的な交通指導員の運用に努めています。

青葉交通安全協会では警察署長の臨席を得て、警察署講堂に交通指導員17人と協会役員7人が集合し、警察署長挨拶の後、交通課長から

- 交通事故情勢
- 交通指導員の役割、事故防止その他留意事項



(青葉交通安全協会)

について講話をいただき、祭礼や各種イベントなどで事故なく活躍していただこうよう要請がありました。また、県交通安全協会配布資料「近年の道路交通法一部改正の要点」、「高齢ドライバー 安全運転のための十ヶ条」を活用した教養では、交通ルール、安全運転等に関する知識を習得するとともに、警察官から警笛活用と停止棒使用による自動車停止・誘導要領等の実技指導を受けました。

交通安全DVD(新着)の紹介

県交通安全協会では、交通安全教育などに活用していただくため、新たに交通安全DVDを購入しました。
交通安全教室や交通安全講習などにご利用してください。

今話題の「ポケモンGO」は出現しませんが、スマートフォン操作しながらの自転車運転(小学生以下と中・高校生向け)の危険性を呼びかけるものや、自動車ドライバー向けとしては、ドライブレコーダーの映像を交えながら本人が気付いていない危険を説明するもの及び「酒気残り」が運転に与える影響等飲酒運転の危険性を検証する内容となっています。



	タ イ ド ル	ジャンル	上映時間	本数
①	ズッコケロボの自転車の交通安全	自転車 (小学生以下)	16分	2本
②	「知らなかった」ではすまされない中学生・高校生のための自転車交通ルール	自転車 (中・高校生)	19分	2本
③	あなたの運転は大丈夫か?ドライブレコーダーからの警告	運転者	25分	3本
④	絶対にダメ!飲酒運転 「しない!」「させない!」「許さない!」	運転者	21分	3本

交通事故の悲劇に学ぶ④

●「命の重み」会社員(26歳)

皆さんは真剣に「命」について考えたり、周りの人たちと話したことはあるでしょうか。多くの方が「真剣に言わると」というような感覚で生活されているのではないかと私は思います。そして、私もその中の一人であったと思っています。

私は交通事故を犯してしまいました。

その日、私は配送先へ商品を運ぶため、片側一車線の高速道路を運転していました。トラックを運転していた私はふと、「配送先で頂く受領書を今のうち準備しておこう。」と考えたのです。今となってはなぜその時にその準備をしようと考えてしまったのか、後悔してもしきれません。その受領書は運転席と助手席の間のスペースに置いてあり、私はその受領書の方に気をとられてしまい、脇見をしながら運転してしまっていたのです。前方に目を戻した時にはセンターラインを越えてしまっており、私自身何も分からず、そこからの記憶がとんでもなっていました。

気が付くと救急隊員の方に声を掛けられ、車から救助されるところでした。警察の方から状況を聞き、自分が犯した罪がどれだけ大きく、重たいものかを感じました。センターラインを越えた私の車は対向車線側のフェンスに激突し、そのフェンスに沿ってそのまま走行し、対向車の軽自動車と正面衝突したのです。そして、その後続車であったトラックも軽自動車を避けきれずに後ろからぶつかってしましました。この交通事故により、2名の方の命を奪い、1名の方に怪我を負わせてしまいました。その事実を私は搬送された病院で父から聞かされ、ぼう然としてしまいました。

「自分のせいで人の命を奪ってしまったのだ。」その時は私自身が死ぬしか道はないのだと考え、また、「どうして俺が死んで、相手の方々が生きていないので。」と自分を責め続けました。その姿を近くで見てくれていた両親はどれだけ辛く、苦しかったんだろうと申し訳ない気持ちで一杯です。

判決が下り、私は自動車運転過失致死傷で、禁錮3年となりました。被害者の方、被害者ご遺族の方は納得されていないことだろうと思います。一部のご遺族の方には直接、謝罪をさせて頂く機会を頂けましたが、被害者の方、その他のご遺族の方にはお手紙での謝罪しかできていませ



(イラストは本文とは関係ありません)

ん。社会復帰した際には、直接お会いし、しっかりと謝罪をさせて頂けるようにしたいと考えています。しかし、罪への償いというものは終わることはありません。

私の犯した罪から3年以上が経過し、この間、私の中の「命」に対する価値観、重さは大きく変わりました。今となっては私自身が生かされている意味を考え、生きているということに対し、感謝の気持ちを持てるようになりました。

人の命を奪った人間が言えることではないのかもしれません。被害者の方、被害者ご遺族の方からすれば、よくそんなことが言えるなと思われるかもしれません。私はそういったことも踏まえ、これからも私自身、私の罪、被害者の方、被害者ご遺族の方と向き合っていきたいと考えております。

そして、まずは私の身の周りから私と同じように苦しむ人を少なくしていくように務めていきたいと思います。

「命」があることは決して当たり前のことではないことを少しでも多くの方が理解し、伝わってくれたらと願っています。

今一度、みなさんで「命」について考え、話してみて頂けると私としても幸いです。みなさんの周りの方々、身近な大切な人たちの笑顔を守るために真剣に考えてみて下さい。どうか宜しくお願い致します。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行
「讀いの日々(第50集)」から～

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- (株)横浜銀行本店 経営管理部 横浜市西区みなとみらい
- キリンビール(株)横浜工場 横浜市鶴見区生麦
- 日産自動車(株)横浜工場 横浜市神奈川区宝町

この人

129



田浦交通安全協会
会長
吉野 英男さん

本年5月30日の総会において田浦交通安全協会会长に就任されました吉野会長を紹介します。

会長は、追浜地区工業団地にある大型タンカーや作業船等建造する会社に40年間勤務していた関係で、交通安全協会など警察・消防・海上保安部の外郭団体や地域の各種活動に携わり尽力されてきました。

特に、62社の加盟する工業会のリーダーとして、地元商店街を活性化するため、客待ちタクシーの長時間駐車解消対策や各社持ち回りの常態化を図るなど、企業人として常に地域の方々に対する思いは強く、その熱意は周囲の人たちにも受け入れられ引き継がれています。

JR大船駅には東海道線、横須賀線、根岸線、湘南モノレールが乗り入れ、東口周辺は多くの商店や飲食店が繁華街を形成しており、人通りも多く賑わいを見せています。JR北鎌倉駅周辺には鎌倉幕府を開いた源頼朝にゆかりのある建長寺や円覚寺をはじめとする神社仏閣が多く存在し、年間を通じて多くの観光客が国内外から訪れます。

道路交通状況は、鎌倉街道、環状

はなく、漁業や釣り船業の方達に協力し、漁船のスクリューに巻き付いた釣り糸の除去を紹介します。

地の海底清掃活動を行つてゐることです。今でも「地域の人々のために何ができるのか」と常に考えているそうです。今は年内の進水に向け、芝刈機に使われている26ccサイズのエンジンを使って15mのクルーザー型の船を作成中とのことで、これらを活用したボランティア活動の幅がますます広がることが期待されます。

これから交通安全協会は、見える協会運営が望まれるという考え方から、これまでの「運転免許証の更新時に多くとこ」というイメージを打破し、地域の各種催事への積極的参画や他の外郭団体との協働による活動の多角化にも努めたいと抱負を話されています。ゼロ」の記録を現在も更新申込書類を提出して少しでも地域に貢献できるよう、会長のリーダーシップに期待したいと思います。

お陰様で、「交通事故死事故」の記録を現在も更新申込書類を提出して少しでも地域に貢献できるよう、会長のリーダーシップに期待したいと思います。

そのため、重大事故が発生しますと大きい反響がありますので、その危険性を念頭に会長以下協会員が一丸となって、交通事故防止活動に取り組んでいます。具体的には警察署の指導を受け、関係団体と緊密な連携を図り、JR大船駅前や主要交差点である鎌倉女子大前において、各種交通安全キャンペーンを開催してドライバーや外国人をはじめとする観光客などの通行人に呼びかけています。

また、これら各種活動を効果的に行う



取材協力：田浦交通安全協会

こんなのは 「大船交通安全協会」です

大船交通安全協会は昭和24年4月に発足し、鎌倉街道沿いにある大船警察署敷地内の一角落に事務所を構えています。大船警察署は鎌倉市の北部約3分の一を管轄しており、鎌倉市的人口は約17万人ですが、そのうち管轄地域に約6万7,000人が居住しています。

JR大船駅には東海道線、横須賀線、根岸線、湘南モノレールが乗り入れ、東口周辺は多くの商店や飲食店が繁華街を形成しており、人通りも多く賑わいを見せています。JR北鎌倉駅周辺には鎌倉幕府を開いた源頼朝にゆかりのある建長寺や円覚寺をはじめとする神社仏閣が多く存在し、年間を通じて多くの観光客が国内外から訪れます。

道路交通状況は、鎌倉街道、環状



ためには、普段、私的な繋がりの少ない協会員が一致団結することが重要でありますので、研修会を行うなどしてお互いの意思疎通を図り、効果的な活動方針、活動要領などを模索・検討しています(写真)。

協会の窓口事務についても、会員獲得など厳しい状況が続きますので、職員一丸となって、笑顔で親切丁寧を心がけ、来訪者の応対に努めているところであります。

(田村 記)

知らせよう 早めのライト あなたから

地区交通安全協会の活動紹介



北 港

伊勢佐木



「バイクの日」に綱島街道において、警察署、区交対協、二普協などと連携し、「二輪車事故防止を呼びかけ、併せて街頭点検を行いました。」
警察署長臨席のもと、警察署会議室において交通指導員の委嘱式・功労者表彰を行った後、交通指導員の心構えや事故防止などを内容とする研修会を行いました。



泉

緑



「バイクの日」に綱島街道において、警察署、区交対協、二普協などと連携し、「二輪車事故防止を呼びかけ、併せて街頭点検を行いました。」
警察署長臨席のもと、警察署会議室において交通指導員の委嘱式・功労者表彰を行った後、交通指導員の心構えや事故防止などを内容とする研修会を行いました。



前 宮

原 中



小学校体育館で小学生以下147名を対象に自転車シミュレーターを活用したり、パネルクイズを行うなど、自転車の交通安全教室を開催しました。



葉山町

生 麻



小学校体育館で区長、署長、校長を招いて「交通安全サマースクール」を開催し、交通安全講話の後、自転車シミュレーターなどで交通安全全話を呼びかけました。



海老名市

厚木警察署管内



相鉄線かしわ台駅前で、校生や自治会役員などの協力を得て、チラシや「えび」にやの反射材を配布したほか、瞬間冷却パックで居眠り運動ハンドルキーパー運動の実践を呼びかけました。

インフォメーション

- 自転車安全整備制度ブロック会議 10月6日(栃木県)
- グッドライダーミーティング 10月10日(厚木中央自動車学校)
- 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査 10月15日(運転免許試験場)
- 二輪車安全運転講習会 10月22日(運転免許試験場)